

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担 当 課：沖縄総合事務局開発建設部建設産業・地方整備課

担当課長名：竹 富 信 也

事業名	都市計画道路 <small>しんとしんまきし</small> 新都心牧志線外1線		事業区分	街路	事業主体	沖縄県
起終点	自： <small>おきなわ</small> 沖縄県那覇市字上之屋 至： <small>おきなわ</small> 沖縄県那覇市字安里		延長	0.44 km		
事業概要	<p>当該事業区間を含む県道那覇宜野湾線は、国道58号と国道330号との間を南北に縦断する路線で、那覇市中心部と浦添市等を結ぶ第3のルートとして位置づけられている。また、交通渋滞の激しい安里交差点、古島交差点、泊交差点等の周辺交差点の渋滞緩和に資する道路としても位置づけられている。</p> <p>本路線の整備により、浦添市街地等から那覇市中心部へのアクセス性の向上と慢性的になっている那覇市中心部の交通渋滞の緩和を図り、併せて、隣接する那覇新都心地区における良好な市街地形成を支援する。</p>					
H10年度事業化	H7年度都市計画決定 (H17年度変更)	H11年度用地着手	H14年度工事着手			
全体事業費	95億円	事業進捗率	95%	供用済延長	0.00 km	
計画交通量	40,200台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 4.8 (残事業) 263.0	総費用 (残事業)/(事業全体) 2.0/109億円 事業費：1.8/109億円 維持管理費：0.16/0.16億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 526/526億円 走行時間短縮便益：482/482億円 走行経費減少便益：31/31億円 交通事故減少便益：13/13億円	基準年	平成19年	
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・都市の再生（土地区画整理事業（那覇新都心土地区画整理事業）と連携しまちづくりに寄与する。） ・個性ある地域の形成（特別立法（沖縄振興特別措置法）に基づく事業である。） ・無電柱化による美しい町並みの形成（対象区間が電線類無電柱化5ヶ年計画（無電柱化推進計画）に位置づけが有り、美しい町並みの形成に寄与する） <p style="text-align: right;">他4項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	泊地区の市道や生活道路を利用して那覇新都心地区と市中心部を往来する交通量が増大しており、児童や高齢者等の交通弱者の安全確保のため、地域住民は当該の道路の早期整備を望んでいる。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	隣接する那覇新都心地区において、行政施設、教育施設及び大型商業施設等の立地やアパート、マンション及び戸建て等の民間建築が相次いでいる。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成19年6月までに、当該路線の整備に必要な全用地を契約済みで、整備率も平成18年度末82%、平成19年度末には、95%に達する見込みである。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	今年度において必要な全事業用地を契約済みで、平成20年度前半の暫定供用及び平成21年度内の全面供用を目指す。					
施設の構造や工法の変更等	再生材の使用により、資源の有効活用を図る。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					

事業概要図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。